



2014. 07

社会福祉協議会情報

ふれあい

福智町社会福祉協議会

- | | | | |
|----------------------|---|-----------------|---|
| ・平成25年度社協の事業を報告します—— | 2 | ・社協からのお知らせ—— | 7 |
| ・平成26年度事業計画—— | 4 | ・梅雨の時期は大雨に注意—— | 8 |
| ・平成26年度一般会計予算—— | 6 | ・ボランティア・指導員募集—— | 8 |

子どもボランティア教室（5月10日）

小中学生51人が国際車いすテニス大会の交歓会会場である金田体育館の周辺をきれいにしました。





福智町社会福祉協議会

平成25年度の主な事業を報告します



福祉入門教室を開催しました

平成25年10月「エンディングノート」「傾聴ボランティア」「消費生活問題」をテーマに3回シリーズで福祉入門教室をあこないました。延べ67人が参加しました。



ボランティア養成講座を開催しました

平成25年10月～平成26年2月、福智町ボランティア連絡協議会と共に、ボランティア養成講座を3回あこないました。テーマは「ボランティア基礎編」「環境ボランティア」「災害ボランティア編」で延べ85人が参加しました。



認知症サポーター養成講座を開催

認知症に関する学習会を3回、地域においてサポーター養成講座を2回、講師のスキルアップ研修を1回あこないました。認知症を正しく理解し、認知症の方を支えるサポーターを育成しています。



小中学生ボランティア教室の開催

平成25年5月18日、小中学生39人が集まり金田体育館のまわりの清掃活動をあこないました。大量のごみが集まり、みんなビックリ！



いいね！・コメントする・シェア ……は Facebook で！

Facebookはこちらまで→ [f 福智町社会福祉協議会](#)



ふれあい交流をおこなっています

地区の公民館等を利用して、ふれあい交流をおこなっています。現在では町内51ヵ所（方城34ヵ所、赤池11ヵ所、金田6ヵ所）にて開催しています。月一回地域の人が集まり、体操をしたり、レクリエーションをしたり、勉強会をしたりしながら地域での交流を楽しんでいます。



地域支え合い体制づくりをしています

平成25年度は6地区をモデル地区として取り組みました。地域における見守りのネットワークづくりや防犯対策などをあこなっています。方城3区では防犯マップを作成し、防犯パトロールを開始しました。



心配ごと相談の実施

月3回、赤池・金田・方城にて心配ごとの相談事業をあこなっています。近隣とのトラブルや借金問題、遺産相続の問題や土地家屋問題などの法律に関する問題、家庭問題などに相談員や司法書士によるアドバイスをあこないました。昨年度は計90件の相談が寄せられました。



緊急医療情報キットの配布

緊急連絡先やかかりつけ病院、服薬情報などの情報を冷蔵庫に保管し、自宅で119番通報をしたときなどの緊急時に救急隊員などが情報として活用できるよう緊急医療情報のカプセルを希望者に配布しました。現在約500件で利用されています。



食の自立支援事業の実施

ひとり暮らしの方や、高齢で食事の準備が難しい方、栄養がかたよりがちな方などを対象に配食弁当を届けています。利用者の安否確認も同時にあこなっています。昨年度は58051食のお弁当を配達しました。



子育てサロン日本語教室の開催

定住外国人を対象に、日本語の習得や困りごとの相談支援を目的として月2回、日本語教室を開催しています。昨年度は延べ42人が参加しました。



在宅介護者リフレッシュ事業の実施

平成26年3月、在宅で介護をしている方を対象として、日頃の介護疲れの解消、介護者同士の情報交換や交流を目的として、日帰りの研修旅行を開催しました。21人が参加しました。



サマースクールかえるの学校

ひとり親家庭・共働き家庭の小学生1~3年生を対象に夏休み期間中「かえるの学校」を開校しました。45人の児童が福祉体験や様々なプログラムに取り組みました。



障がい児夏期休暇サポート事業

夏休み期間中における障がい児を抱える家族の身体的、精神的な負担の軽減と、家族同士の情報交換・親睦を目的として開催しました。16人が参加し、72人がボランティアとして運営をサポートしました。



ファミリーサポート事業の実施

6ヶ月~小学6年生までの子どもを「まかせて会員さん」が一時預かりする事業です。昨年度は4人の子どもを預かりました。



結婚相談事業の実施

地域活性化再生事業の一環として町行政支援のもと結婚相談を受け付けています。毎月第1・2・4土曜日の10:00~17:00まで金田社会福祉センターにてあこなっています。今年の3月にはフリーマガジンHenに会員募集の広告を掲載。以後、登録や問い合わせが多数ありました。

など社会福祉協議会では、様々な事業をあこなっています。ホームページのブログやFacebookでも随時、事業の報告をおこなっていますので是非ご覧ください。

信頼と親しみのある身近な 福智町社会福祉協議会をめざして ～共に歩む福祉のパートナー～



平成26年度 事業計画

平成18年3月1日、旧3町の社会福祉協議会が合併し8年が経過いたしました。この8年を取ってみても少子高齢化は急速に進んでおり、また孤立化や認知症など地域では多くの課題が顕在化し、またその課題も複雑化・多様化してきており、個々の力だけでは対応できなくなっています。

市町村社会福祉協議会は、社会福祉法109条において、「地域福祉を推進する中核的団体」として、法的に明確に位置付けられており、地域福祉コミュニティの形成に向けて、その推進と問題解決に向けた取り組みしていくことが大きな役割の一つです。

今、福祉行政のあり方は、地域を基盤とした「地域福祉」の考え方を根底に進められています。この福智町では、「地域支え合い体制づくり事業」を中心に地域福祉コミュニティづくりに取り組んでいます。しかしさらに充実して取り組むためには、何かが足りません。それは、一人の人間としての考え方です。世界や日本、福岡県、福智町、家族そして個人となり、最小単位が一人の人間です。地域が大きくなるほど少数者は大多数者にまぎれ、個別に見えなくなっています。「地域福祉」の推進とともに、ひとりひとりを大切にした「生涯福祉」の観点からの取り組みもこれからは考えていかなければなりません。

この世に生を受け、そして安らかに人生を閉じるまでの間に、安心して安全にそしていきいきと暮らすための環境が人生（年齢）を基盤として考えられ、ライフステージに応じた福祉サービスが確立されている地域づくりのあり方を模索することも必要です。「子どもが病気になったとき仕事を休めないし預ける人がいない」。「不幸にも亡くなられたが家族は遠方で葬儀後にすぐに帰京し後片付けも手続きもできていない」。など個人の人生を基準とした中で起きるそれぞれの問題に真摯に向き合い、それにこたえていくための方策を「共に歩む福祉のパートナー」として考えていく必要があります。「生涯福祉」と「地域福祉」の考え方の一体化がこれからの新しい福祉の形であると考えます。この考えを基本に、それが共通認識のもと、関係機関や団体が一体となって取り組むことができるようその環境整備に努めてまいります。

実施計画

1. 法人機能の強化と財政健全化計画の遂行

- ①理事会・評議員会の開催 ②部会・委員会の開催 ③定例三役会の開催 ④監査会の開催
- ⑤行政懇談会の開催 ⑥課長会の開催 ⑦職場改善委員会の開催 ⑧賛助会員の募集
- ⑨寄付金の募集 ⑩共同募金運動の拡充 ⑪居宅介護支援事業の実施 ⑫訪問介護事業の実施
- ⑬障がい者自立支援事業の実施 ⑭葬祭事業の実施
- ⑮目標管理、人事考課制度の研究と労務・税務管理の法令順守の徹底
- ⑯地域福祉活動計画の見直しによる推進 ⑰新会計基準への移行 ⑱基盤強化計画の策定

2. 人権と福祉意識を携えた人づくり

- ①役職員研修会の開催 ②各種研修会参加による自己研鑽と資格取得の推進及び支援
- ③職員育成プログラムの実施 ④人権・同和問題に関する意識の向上及び取り組み
- ⑤福祉教育プログラム実施の基盤整備 ⑥福祉教育読本の配本 ⑦福祉入門教室の開催
- ⑧ボランティア養成講座の実施及び支援 ⑨ボランティアの募集とボランティアコーディネート機能
- ⑩ボランティア連絡協議会への支援 ⑪小中学生ボランティア事業の開催 ⑫住民福祉講座の開催
- ⑬認知症サポーター養成講座の開催 ⑭キャラバンメイト（講師）スキルアップ研修の開催
- ⑮ハートフルキーパーの育成支援 ⑯出張出前講座の実施

3. 地域における新たな支え合いのネットワークづくり

- ①ふれあい交流事業の充実と拡充 ②地域支え合い体制づくり事業の実施（※下記参照）
- ③緊急医療情報キット配布事業の実施 ④保健・医療・福祉実務者連絡会議（サポーター会議）の開催
- ⑤災害時ボランティアセンターの設置及び被災者支援の取り組み
- ⑥金田在宅介護支援センター事業の実施と連携
- ⑦人権と福祉のまちづくり総合計画推進会議への参画と協力
- ⑧緊急通報システム（行政）利用者への支援 ⑨地域包括支援センター、関係機関・団体との連携

※②地域支え合い体制づくり事業の実施

地域支え合い体制づくり事業では下記のこと取り組みます。

- ・見守り支援ネットワークづくり
- ・民間企業による見守り支援協定の締結
- ・地域防災マップの作成
- ・介護予防事業の実施
- ・要支援者訪問事業の実施
- ・地域ケアシステムの共同研究（東京医科歯科大・九州大チーム、福岡県立大）

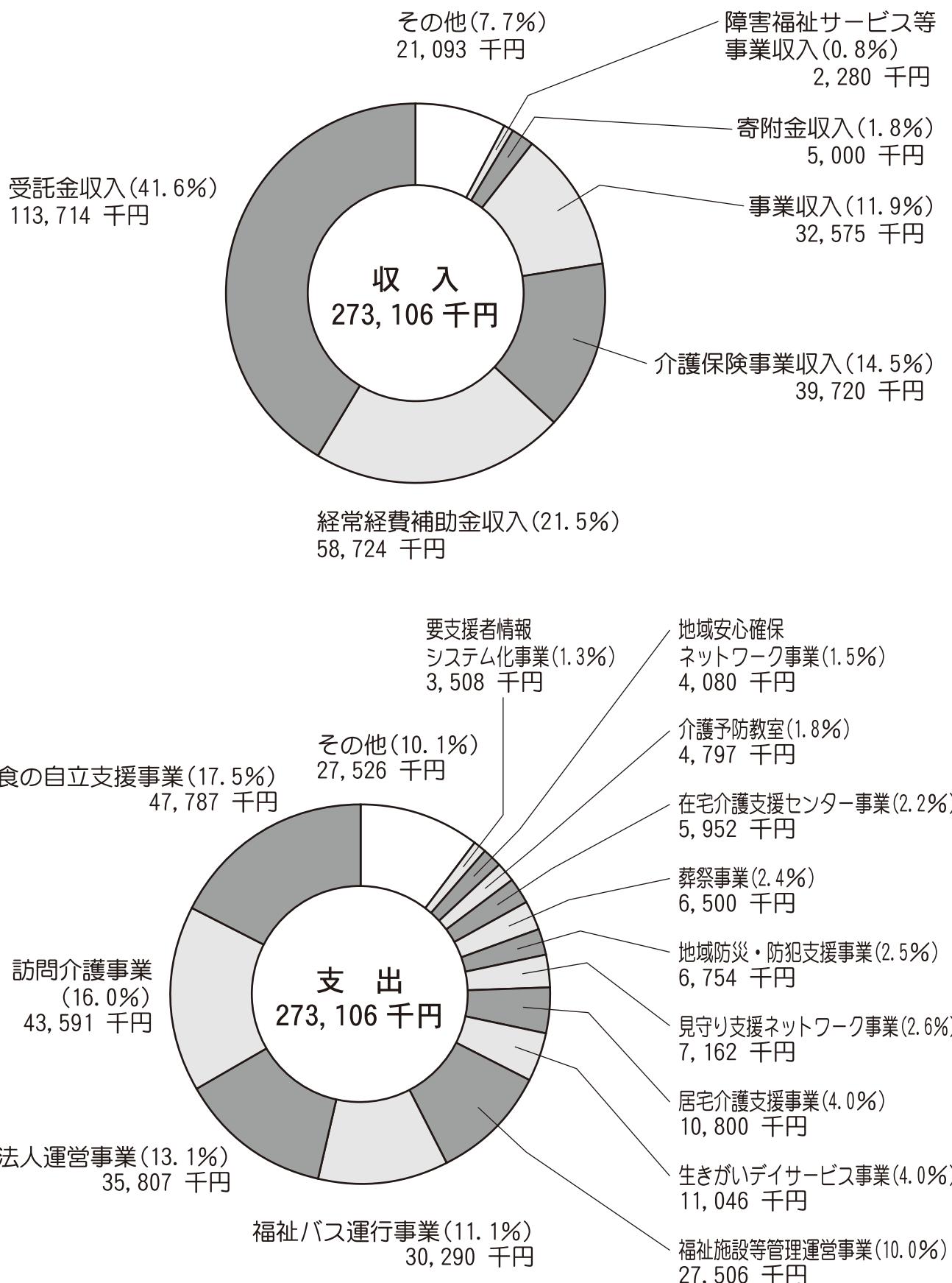
4. 相談・情報提供を総合的に支援する仕組みづくり

- ①心配ごと相談事業の実施 ②広報委員会の設置
- ③社協情報誌「ふれあい」の発刊 ④社協だより「きずな」の発行
- ⑤社内報「ほうれんそう」発行による情報の共有化
- ⑥視覚障がい者への情報提供の推進（録音CDによる情報提供）
- ⑦ホームページによる情報の発信とブログ機能による情報提供
- ⑧福祉及び防災に関する情報の一元化

5. 生活ニーズに対応した福祉環境づくり

- ①介護レスキュー事業（緊急時の日常生活支援事業）の実施
- ②食の自立支援事業（配食サービス）の実施 ③福祉バス運行事業の改善と充実
- ④生きがいデイサービス事業の実施 ⑤軽度生活支援事業の実施 ⑥移送サービス事業の実施
- ⑦福祉施設管理運営事業の実施（赤池コスモス保健センター《ボイラー・浴室関係のみ》・金田社会福祉センター） ⑧子育てサロン日本語教室事業の実施 ⑨生活福祉資金貸付事業の協力
- ⑩フレンドシップミーティング（障がい児交流）の実施 ⑪サマースクール「かえるの学校」の実施
- ⑫在宅介護者リフレッシュ事業の実施 ⑬障がい児夏期休暇サポート事業の実施 ⑭地域ケア会議（地域包括支援センター）への支援と参画 ⑮自立支援センター設置プロジェクト参画
- ⑯ファミリーサポートセンターの試験的実施の継続 ⑰結婚相談事業の実施

一般会計予算



あなたの地域でも「ふれあい交流」をはじめてみませんか？

福智町の高齢化率は、4月現在28.3%になりました。年々少子高齢化や核家族化が進み、地域での人々のふれあいや近隣とのかかわりあいの希薄化が進んできています。住みなれたところで住民同士でたすけあい、安心して暮らせる地域をつくるために、地域での交流をはじめてみませんか？



方城8区(草場) ふれあい交流

ふれあい交流では、毎月1回地域の公民館や集会所を利用して、主に60歳以上の方が集まり健康体操や研修会、レクリエーションなどをとおして交流を楽しんでいます。

ふれあい交流の内容は、世話を中心として地域の皆さんで話し合いながら決めていきます。また役場もしくは社協から担当者が1名つき、その運営をサポートしていきます。

ふれあい交流は、年々徐々に増えていき、現在では福智町の51ヵ所で開催されています。昨年度は4ヵ所（金田9区、赤池3区、赤池18区、赤池27区）でふれあい交流が始まりました。

ふれあい交流に関するお問い合わせは、
社会福祉協議会 地域福祉課 TEL:22-3778
人権同和対策課（ほのぼの館）TEL:22-6290

← 今年度、福岡県立大学の学生が実習の一環として18ヵ所のふれあい交流に入り、「転倒予防教室」をおこなっています。

災害ボランティア登録者・登録団体募集中

福智町内もしくは近隣市町村で大災害が発生し、災害ボランティアセンターが立ち上がった際に、センターのスタッフとして、また支援活動のボランティアとして、活動いただける方の登録を募集しています。事前にボランティアとして登録していただくことで、災害ボランティアに関する知識や情報を提供し、また災害ボランティア必要時には迅速な対応ができるよう連絡体制等の整備を図ります。

【登録の条件】

福智町に在住、もしくは福智町に勤務している方。個人でも団体でも登録が可能です。資格などは特に必要ありませんが、登録時に満18歳以上の方に限ります。登録申込書は福智町社会福祉協議会に置いています。またホームページでも入手することができます。

詳しくは地域福祉課（22-3778）まで

使用済み切手でアジアの子どもたちの命を救おう 社会福祉協議会では使用済み切手を集めています



集められた使用済み切手は日本キリスト教海外医療協力会に送っています。会では1960年よりアジアを中心とする医療に恵まれない地域に医療従事者を派遣し、アジアの人々の健康づくりに協力しています。また各国で医療従事者を目指す人々の援助も続けています。



- ・切手の種類は問いません。普通の82円切手でもOKです。
- ・切手のまわりは5mm～1cmはなして切り取ってください。

各団体や企業から寄せられた約18kg（段ボール1箱分）の使用済み切手を6月9日に郵送しました。

使用済み切手がありましたら、金田社会福祉センターまでお持ちください。

梅雨の時期は大雨に注意！

今年も梅雨に入り、各地での集中豪雨のニュースが流れてきます。家族の命をまもるために、早めの情報の入手が重要です。

防災メール まもるくん の紹介

（福岡県総務部防災危機管理局
防災企画課防災情報係）

防災メール まもるくんでは、登録をしておくと、県内の地震、津波、台風、大雨等の注意報・警報情報を受信できるほか、市町村からの避難勧告等の防災情報をメールで受信することができます。また、あらかじめ指定している人へ安否情報通知をおこなうこともできます。携帯電話をお持ちの方は是非登録をお勧めします。



防災メール・まもるくんへの
アクセスにご利用ください。

NHKデータ放送 の紹介

NHK総合のチャンネルでdボタンを押すと、河川水位・雨量の情報が見られます。彦山川や中元寺川の観測点での現在の水位が表示されます。避難等の参考になりますので、是非一度ご覧ください。



ファミリーサポート事業をご利用ください

あなたの子育て応援します

- ・冠婚葬祭で子どもの面倒がみられない
- ・病院に行くときに一緒に連れていけない
- ・たまには気分転換がしたい

などで子どもをあずかってもらいたいと思ったことはありませんか？ ファミサポ事業では、子育てサポーター養成講座を修了した「まかせて会員」さんが、あなたの子どもを預かります。



赤い羽根共同募金にご協力ありがとうございます。本誌は共同募金の配分によって作成されています。

障がい児夏期休暇サポート事業 ボランティア大募集！！

夏休み（7月28日～8月29日）に障がい児を対象とした夏期休暇サポート事業をおこないます。本事業に参加する小学生から高校生までの障がいのある子どもたちと一緒に楽しく過ごしてくれるボランティアを募集しています。

対 象：18歳以上（高校生不可）
活動日：開催期間中の何日でも結構です
時 間：8:30～17:00（応相談）
場 所：福智町金田保健センター

申込み・問い合わせ：地域福祉課 22-3778

サマースクール かえるの学校 指導員募集

夏休み（7月22日～8月29日）におこなうサマースクールかえるの学校の指導員を募集します。子どもが大好きで一緒に思いっきり遊んでくれる方、体力に自信のある方、連絡あまちしています。

18歳以上（高校生不可）
日給 5,400円（8:30～16:00）

申込み・問い合わせ：地域福祉課 22-3778



対象の子どもは6ヶ月～小学6年生です。

初めてご利用の方は、会員登録、オリエンテーション、事前の顔合わせ等がありますので、1週間前までにご連絡ください。

利用料金 月～金 AM6:00～PM8:00 1時間500円
土・日・祝日・年末年始・上記以外の時間帯 1時間800円

申込み・問い合わせ：地域福祉課 22-3778

社会福祉協議会情報 ふれあい 第22号

平成26年7月発行

編集・発行 福智町社会福祉協議会 地域福祉課

〒822-1201 福岡県田川郡福智町金田1154番地2

TEL: 0947-22-3778 FAX: 0947-22-6678

ホームページ <http://wel-fukuchi.net/>